

ちば 県議会 だより

No.186

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会
編集 千葉県議会事務局 政務調査課
〒260-0855
千葉市中央区市場町1-5
TEL 043-223-2523
FAX 043-222-4073



千葉県議会 検索

9月定例会県議会のあらまし

9月定例会県議会は、9月11日に招集され、10月9日までの29日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和6年度一般会計補正予算等の議案18件、報告4件および決算認定についてが上程され、知事から提案理由説明と当面する諸問題等について報告がありました。

9月18日から7日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、23名の議員が登壇し、知事の政治姿勢をはじめ、財政問題、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、10月1日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、令和6年度補正予算関係の議案1件が追加上程され、知事から提案理由説明があった後、総務防災常任委員会に付託され、具体的・専門的な審査が行われました。

本会議再開後、各常任委員会および議会運営委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、追加上程された議案を含む19件の議案全てが原案のとおり可決されました。

続いて、議員発議案(意見書)21件のうち1件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。



代表質問

9月18日(水)



自民党 ^{さかした}坂下 しげき議員 (市川市)

- 知事の政治姿勢
- 防災対策
- こども施策
- 児童虐待防止対策
- 農林水産業の振興
- 教育問題



立憲民 ^{のだ たけひこ}野田 剛彦議員 (船橋市)

- 県土整備部における不適正事案への対応
- ハラスメントの防止
- 職員採用に向けた取り組み
- ヤングケアラー支援
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 酪農家の所得向上

9月19日(木)



公明党 ^{なかむら ひであき}仲村 秀明議員 (船橋市)

- 孤独・孤立支援
- 防災・減災対策
- 路線バス支援
- ヤングケアラー支援
- ケアマネジャー支援
- 障がい者支援



千政団 ^{すなが かずよし}須永 和良議員 (君津市)

- 入札制度の下請け実績評価
- 適切な労務費の支払い
- 視覚障がい者への災害対策情報の伝達
- 高校生の就活「一人一社制度」の見直し
- 水稲の共同利用施設の老朽化情報の伝達
- 君津インターチェンジ周辺整備

9月20日(金)



共産党 ^{あさの ふみこ}浅野 ふみ子議員 (市川市)

- 巨大開発優先の県政運営
- 乳児虐待死事件
- 青年学生への支援
- PFAS汚染
- 精神障害者支援、教育問題
- 市川市河原地域の県道工事

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 9月 検索

「決算審査特別委員会」の設置



令和6年9月定例会県議会において、千葉県の令和5年度一般会計および特別会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会が設置されました。

■ 審査日程(開会時間 各日午前10時・10月15日のみ午後1時30分)
10月11日(金)・15日(火)・29日(火)・11月5日(火)・6日(水)・11日(月)

委員名簿

会派名	委員名
自民党	◎ 関 政 幸 ○ 三 沢 智
	茂 呂 剛 川 名 康 介
	高 橋 祐 子 木 名 瀬 訓 光
	松 崎 太 洋 小 川 としゆき
立 憲 民	西ヶ谷 正 士
	守 屋 貴 子 鈴 木 均
公 明 党	山 下 洋 輔
千 政 団	秋 林 貴 史 篠 田 哲 弥
共 産 党	石 川 りょう
国 民	み わ 由 美 榎 本 怜

◎委員長 ○副委員長

(令和6年9月27日現在)

会派別議員数

会派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	49人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	14人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千葉新政策議員団	千政団	5人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	4人
国民民主党千葉県議会議員会	国民	2人
平和の党	平和党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
北総ダッシュの会	北総ダ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
市民力	市民力	1人
有志の会	有志	1人
無所属議員	無所属	1人

定数：95人 現員：90人 (令和6年10月15日現在)

千葉県議会ホームページ

(ホームページアドレス)
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

県議会情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

主な掲載内容

- 県議会議員の紹介
- 傍聴のご案内
- インターネット中継(ライブ・録画) 本会議および予算委員会(過去4年分視聴可)
- 会議録検索 ● 会議の概要
- 議会図書室の利用案内

インターネット中継 動画配信



千葉県議会中継 検索

代表質問から

知事の政治姿勢

問 県土整備部における不適正事案への対応で、倫理規則や関係規則の制定からわずか5年程度で見直すことについてどう考えているのか。

答 平成29年度に県土整備部の職員が官製談合防止法違反で逮捕されたことを受け、職員倫理条例等を制定し、公務に対する県民の信頼確保に努めてきたところだが、飲食の届出基準の設定や、情報管理に関するルールの徹底などが十分でなかったこともあり、今回の事件の発生を反省した点について、極めて遺憾に思う。県では、事件の背景や課題点などの調査、検証を行うため設置した外部有識者による検討会議からいただいた提言を踏まえ、先日、飲食の届出制度の見直しや、利害関係者からの働きかけ記録制度の導入などの再発防止に向けた取り組み方針を決定した。

今後、この方針に沿った実効性のある再発防止策を策定し、全庁を挙げて再発防止に取り組むことで、県民の信頼回復に努めていく。

防災対策

問 南海トラフ地震臨時情報を受け、県はどのように対応していくのか。また、今後、どのように対応していくのか。

答 巨大地震注意の南海トラフ地震臨時情報が発表されたことを受け、県では情報収集体制を取り、県民に地震への備えについて呼びかけるとともに、市町村との情報共有や関係機関との連絡体制の確保、備蓄品やその搬出手順の確認等を行った。

その後、「特別な注意の呼びかけ」が終了し、県の体制は解除したが、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことから、「日頃から地震への備え」について、引き続き県民に呼びかけていくこととした。

今後、大規模地震の発生に備え、市町村と共同で実施する津波からの避難訓練や、協定締結企業との連携強化など、さまざまな事態に対応できるように地震対策に取り組んでいく。

問 道路啓開計画の策定に当たり、計画の実効性を高めるために、留意した事項は何か。

答 本県では、平成27年に津波被害を想定し、沿岸部へ至る緊急輸送道路等を啓開候補路線として選定・公表していたが、本年発生した能登半島地震の被害状況を踏まえ、建物の倒壊などによる道路閉塞も想定する必要があることから、内陸部を含む県全域を対象とする道路啓開計画を新たに策定し、9月10日に公表した。

計画では、電力・通信や水道などのライフライン施設へのアクセスを考慮しつつ、市町村役場や港湾施設などの防災拠点と結ぶ道路を啓開候補路線として選定し、道路啓開の基本方針や対応行動、実施体制などについて定めた。

この計画の実効性を確保するため、建設業協会等の関係事業者と連携し、路線ごのがれきり量などを想定し、啓開に必要な資機材や人員を確保することとした。

今後、この計画に基づき、関係機関と連携した訓練を実施するなど、災害への対応力の強化を図っていく。

問 ハザードマップ等の災害対策情報が伝わりにくい視覚障害者・弱視・識字困難者等に対し、今後、県はどのように対応していくのか。

答 県では、市町村向けの手引きにおいて、避難行動要支援者等の個別の事情に配慮した情報伝達手段の確保を求めるとともに、視覚障害者への伝達手段として、音声対応のハザードマップ作成や防災行政無線の個別受信機導入などへの財政支援を行っている。

また、スマートフォン等で閲覧できる国のハザードマップには、災害リスクや発災時に取るべき行動などの情報が掲載されていることから、文字から音声に変換して読み上げるソフトを併せて利用することにより、これらの情報を耳で聴き取ることが可能となることを、県としても周知している。

今後、研修会などの機会を通じ、先進的な取り組み事例を市町村と共有するなど、視覚障害者を含め、誰もが防災情報を入手しやすい環境づくりに努める。

こども施策

問 県のこども計画の策定に向けた検討状況はどうか。

答 県では、国のこども大綱などを踏まえ、「全世代型・若者をみんなで支え、その可能性を広げていく」ため、こども施策の共通の基盤

となる新たな計画の策定を進めている。策定に当たっては、児童福祉や教育などさまざまな分野の専門家等を構成員とする会議を設置したところであり、9月10日に開催した第二回会議においては、計画素案の他、約5万人の小・中・高校生を対象に、希望する未来像等を聞いたアンケート結果などについても説明し、幅広くご意見を伺った。

さらに今後は、大学生等を対象としたワークショップを実施するなど、引き続き、こどもの意見聴取に取り組むこととしており、これらの意見を踏まえ、市町村等と連携しながら、年度内の計画策定に向けて取り組んでいく。

児童虐待防止対策

問 船橋市で発生した児童の死亡事案について、県はどのように対応するのか。

答 県では、船橋市で発生した児童の死亡事案について、虐待により児童が死亡した痛ましい重大事案と認識しており、大変重く受け止めている。

このため、学識経験者、弁護士等の専門家で構成する「児童虐待死亡事例等検証委員会」において、本事案における市川児童相談所の対応等について分析・検証することとしており、9月10日には第一回検証委員会を開催し、今後の進め方等について協議した。

今後、同委員会において、関係機関へのヒアリングを実施していくなど、事案の詳細について検証を進めるとともに、同委員会での検証等を踏まえ、虐待により尊い命が二度と失われることがないように、虐待防止対策にしっかりと取り組んでいく。

主食用米の生産状況

問 令和6年度の主食用米の生産状況はどうか。また、需要に応じた米生産に今後どのように取り組んでいくのか。

答 本県における令和6年度の主食用米の生産状況は、市町村からの聞き取りでは、米価の上昇基調を背景に、設定した生産目安より約2100ヘクタール多い、4万8300ヘクタール程度となる見込みである。

一方で、長期的には主食用米の需要量の減少が見込まれていることから、稲作経営の安定を図っていくためには、主食用米の需給バランスを適切に維持していく必要がある。

このため県では、令和7年度に向けて、国が示す需給見通しや県産米の在庫量を踏まえ、11月を目途に主食用米の生産目安を設定するとともに、専用品種による飼料用米等の生産量も考慮しながら、引き続き、需要に応じた米生産を図っていく。

不登校児童生徒への支援

問 オンライン授業配信「エデュオプちば」の実施状況はどうか。また、今後どのように進めていくのか。

答 本年6月から、中学生を対象に、国語、社会、数学、理科、英語の授業を配信しており、9月1日時点の登録者数は434名で、このうち、毎日100名程度の生徒が受講している。

7月に生徒に実施したアンケートでは、「授業を受けられたことで安心した」「今まで勉強に手がつかなかったが、少しずつ学習の習慣がついてきている」などの感想に加え、「授業以外に生徒間の交流の場が欲しい」などの意見が寄せられた。

夏休み中には音楽や美術、保健体育の授業の他、企業等の協力を得て、食育やプログラミングなどの講座も開講したところであり、引き続き、取り組みの充実を図るとともに、さらなる周知に努め、受講者の増加につなげていく。

障害者支援

問 重度の強度行動障害のある方の施設での受け入れについて、県はどのように支援をしているのか。

答 非正規雇用の労働者については、雇用が不安定であることや正規雇用には比べ賃金が低い、などといった課題があると考えている。そのため県では、希望する方が正規雇用として就労することができるよう、正規雇用への転換に取り組む企業への国の助成金の活用を促すとともに、若者の就労支援施設である「ジョブカフェちば」において、正規雇用に向け、相談から企業とのマッチングに至るまで、一人一人に寄り添った支援を行っているところである。

可決された議案

- ◆令和6年度補正予算関係(7件)
 - ▷一般会計(2件)
 - ▷特別会計(5件)
- ◆条例の一部改正(6件)
 - ▷使用料及び手数料条例等
 - ▷行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例
 - ▷児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等
 - ▷千葉県医師修学資金貸付条例
 - ▷県が設置する専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例及び県営水道事業の布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格を定める条例
 - ▷千葉県中小企業融資損失てん補条例
- ◆その他(6件)
 - ▷市の境界変更
 - ▷契約の締結(4件)
 - ▷損害賠償の額の決定及び和解

可決された意見書

- ▷慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書

各常任委員会の 主な質疑から

総務防災常任委員会

問 災害対応力の強化を図るため、市町村の被災者支援システム導入に対して、県はどのような支援を考えているのか。

答 市町村の事務負担軽減を図るため、県が一括して事業者との契約を行う他、今後、市町村からの意見や要望を踏まえ、早期にシステム導入が進むよう支援していく。

総合企画企業常任委員会

問 路線バス運転手確保対策事業について、どのような考え方のもと、実施することとしたのか。

答 県では、4月にバス事業者を対象に緊急の調査を行い、各社においては、賃上げや休暇日数の増加等の待遇改善や、採用活動の強化の取り組みなどを行っていることが分かった。

一方で、事業者からは、「トイレや休憩所の整備など、労働環境の改善まではなかなか手が回らない」といった意見や、「県外からもできる限り多くの人材に来てもらいたい」といった要望があったことから、新たに補助制度を創設し、事業者の取り組みを後押しすることとした。

また、現在は、バス会社ごとに採用活動を行っているが、バス運転手の仕事に興味のある方に、各社の魅力や雰囲気などを伝えることができるよう、県として、新たに合同企業説明会を開催することとした。

健康福祉常任委員会

問 3、4、5歳児の保育士等の配置を手厚くする基準の見直しにより、今後、県としてどのように人材の確保に取り組んでいくのか。

答 県では、保育士の人材確保のため、保育士の資格取得を目指す学生への修学資金の貸し付けや、「ちば保育士・保育所支援センター」における潜在保育士等と事業所のマッチングなど

を行っている。
引き続き、新たな基準が必要となる保育士が配置できるよう、関係機関や市町村等と連携しながら、保育士の確保に取り組んでいく。

環境生活警察常任委員会

問 PFOS等に係る地下水汚染防止対策事業について、補助金の対象となる事業はどのようなものか。また、PFOS等の地下水汚染に対し、県としてどのように取り組んでいくのか。

答 補助対象は、市町村が行う地下水汚染の原因や拡散経路等を解明するための調査および汚染物質の除去対策に係る事業である。

県としては、本事業の周知を図り活用を促すとともに、調査手法等に関する技術的な助言や、正しい情報発信に努め、市町村と連携して、県民の健康被害の防止と不安解消に向けて取り組んでいく。

商工労働常任委員会

問 スタートアップ支援事業の狙いは何か。

答 また、多くのスタートアップが参加できるよう、どのように周知を図るのか。

答 スタートアップは、新たなビジネスモデルなどにより、成長が期待できる一方で、多くの不安を抱えていることから、先輩起業家等からの助言や、同じ志を持つスタートアップ同士が相談・交流できる場が重要である。

県では、県内各地域において、スタートアップの経営者を対象としたメンタリングやセミナー、交流会を行い、コミュニティの形成を進めることにより、スタートアップの担い手の育成や、人脈・ネットワークづくりにつなげていく。

また、開催に当たっては、SNSや、ホームページ等での広報を行うとともに、金融機関等からの協力も得ながら、より多くのスタートアップに呼びかけていく。

農林水産常任委員会

問 酪農家の省力化にどのように取り組んでいくのか。

答 県では、発情発見システムや哺乳ロボットなどのICT機器等の導入による生産性向上と労働時間の短縮を進めている。

引き続き、生産者団体と連携し、酪農経営の一層の省力化を推進していく。

県土整備常任委員会

問 圏央道の大栄・横芝間の工事は、順調に進んでいるのか。

答 国や高速道路会社に確認したところ、令和8年度までの開通に向け、全面的に工事が展開され、順調に進んでいると聞いている。

昨年度、開通遅れの要因とされた(仮称)芝山トンネルは、本年2月に貫通し、トンネル内部を補強するコンクリート工事を進めている。

(仮称)高谷川高架橋については、下部工の工事と平行して、上部工の製作が進められている。

また、圏央道と銚子連絡道路を接続する、松尾横芝インターチェンジについては、8月にランプ橋が完成した。
引き続き、進捗状況の把握に努めていく。

文教常任委員会

問 教員採用第一次選考の改善に関して、次年度以降の問題作成の外部委託契約をするに当たり、どのような点を重要視しているのか。

答 また、出題ミスをなくすため、今後、県教育委員会としてどのような対応が必要と考えているのか。

答 県教育委員会の意向が十分反映されるよう、仕様書に作問の条件等を細かく記載する必要があると考えている。

また、出題ミスをなくすためには、チェック体制の強化が必要であると考えており、問題を点検する人数や方法などについて、採用選考等改善検討委員会の意見を伺いながら、実効性のある改善策を検討していく。



常任委員会活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

千葉県議会 県内調査 検索

総務防災常任委員会

調査日 令和6年10月3日(木)
調査先 夷隅合同庁舎
(夷隅郡大多喜町)

夷隅合同庁舎再整備事業

地域の防災活動拠点として必要な会議スペースの確保、非常用発電設備の設置、防災備蓄倉庫を敷地内に併設するなど、防災機能の強化を図った新しい夷隅合同庁舎を視察しました。



蓄電池を備えた太陽光発電設備の説明を受ける委員

総合企画企業常任委員会

調査日 令和6年10月4日(金)
調査先 ちば野菊の里浄水場
(松戸市)

ちば野菊の里浄水場 第2期施設整備事業

ちば野菊の里浄水場の第2期施設を視察し、安全な水を供給するための高度浄水処理工程や災害時などの危機管理対策の状況について調査しました。



ちば野菊の里浄水場の高度浄水処理工程について説明を受ける委員

環境生活警察常任委員会

調査日 令和6年10月4日(金)
調査先 千葉県立中央博物館
(千葉市中央区)

県立中央博物館の機能強化

博物館法の改正などにより博物館に求められる役割が多様化していることを踏まえ、県立中央博物館が抱える課題と今後の機能強化に向けた取り組みについて調査しました。



博物館の設備・展示等について説明を受ける委員

文教常任委員会

調査日 令和6年10月2日(水)
調査先 千葉県総合教育センター
(千葉市美浜区)

不登校児童生徒への 支援に向けた取り組み

千葉県総合教育センターにおいて、令和6年6月から開始したオンライン授業配信「エデュオプちば」の説明を受け、その後授業配信ブースを視察しました。



オンライン授業配信「エデュオプちば」について説明を受ける委員

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。
その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 9月 検索

9月20日(金)



自民党 佐野 彰議員
(千葉市中央区)

- 新湾岸道路
- 医療と地域課題
- 新県立図書館及び県立中央博物館
- 学校給食の地場産物活用



自民党 田中 幸太郎議員
(市川市)

- カーボンニュートラルの推進
- 観光政策
- 運転免許行政
- 市川地域の諸課題

9月24日(火)



公明党 赤間 正明議員
(市川市)

- 私学助成
- メーターユニットの漏水
- 医療・福祉問題
- 市川市の課題



自民党 若井 泰憲議員
(印西市・印旛郡栄町)

- 定時制高校等
- 医療的ケア児
- 体験型博物館房総のむら
- ケアマネジャーの人材不足



立憲民 入江 晶子議員
(佐倉市・印旛郡酒々井町)

- 人獣共通感染症対策・ワンヘルス
- こどもホスピス
- 農地の保全活用と担い手の確保
- 小中学校での日本語指導



自民党 武田 正光議員
(流山市)

- 商工会議所等の体制強化
- 在宅医療の多職種連携
- 流山市の教員不足
- 三郷流山橋有料道路

9月25日(水)



自民党 川名 康介議員
(鴨川市・南房総市・安房郡)

- ドイツ・オランダ行政視察
- 道路復旧と拡幅工事
- 治山事業の改善
- 医療介護の人材確保



自民党 高橋 祐子議員
(富里市)

- 中小企業者の脱炭素化
- 鳥インフルエンザ対策
- 危機事案の初動体制
- 不登校児童生徒の支援



自民党 鈴木 ともなり議員
(市原市)

- 知事の政治姿勢
- 消防・防災
- 道路整備
- ドローンを活用した高校教育



千政団 石川 りょう議員
(船橋市)

- 葛南土木事務所等の建替
- 社会人経験のある教員の採用
- 東葉高速の通学定期運賃
- 船取線の4車線化

9月26日(木)



立憲民 竹内 圭司議員
(千葉市緑区)

- 水道料金
- 羽田空港着陸機の騒音影響
- LGBTの方の住まい
- 認知症高齢者の運転免許証保持



自民党 川村 博章議員
(千葉市花見川区)

- 教育施策
- 高齢者福祉
- 産業振興
- 鉄道アクセス



立憲民 栗原 直也議員
(四街道市)

- 都市計画道路
- 開発許可制度
- 障害者グループホーム
- 障害者就労支援事業



自民党 小川 としゆき議員
(千葉市若葉区)

- 県市間の連携
- 千葉県の歴史や文化を活用したふるさと意識の醸成
- 県産品のプロモーション
- 地域公共交通におけるデジタル技術の活用



9月27日(金)
国民 天野 行雄議員
(千葉市稲毛区)

- 大型プロジェクトの誘致
- 戦略的な企業誘致について
- 再エネの地産地消による産業振興
- 千原線の運賃について



自民党 高橋 秀典議員
(旭市)

- 海業の推進支援
- 九十九里エリアのブランディング
- 九十九里地区の海岸防災林
- 農業における高温対策



平和党 西尾 憲一議員
(船橋市)

- 県議の海外視察廃止を
- 高すぎる公務員給与
- 家庭生ごみのたい肥化
- 県立都市公園の全面禁煙



自民党 茂呂 剛議員
(八千代市)

- 防災対策
- スポーツ振興
- 警察と自治体の連携
- 東葉高速鉄道

令和6年9月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和6年度9月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の18議案の他、報告4件および「決算認定について」です。

◎令和6年度補正予算案等

議案第1号は、令和6年度一般会計の補正予算案です。

9月補正予算では、地域公共交通を維持するための路線バス運転手の確保支援、緊急輸送道路などに架かる橋りょうの老朽化対策、PFOS等による地下水汚染の拡大を防止するための補助制度の創設など、喫緊の課題に対応するとともに、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、必要な事業費を計上しました。

また、年度間の財源調整を図り、健全な財政運営に資するため、令和5年度の決算剰余金の2分の1を財政調整基金に積み立てます。

この結果、補正予算額は102億2,700万円、補正後の予算規模は2兆1,182億2,700万円となります。

議案第2号から議案第6号までの5議案は、いずれも特別会計に係る補正予算案です。

次に、議案第7号から第12号までの6議案は、条例の一部改正に係るものです。

また、議案第13号は、経営体育成基盤整備事業の施行に伴い、木更津市と袖ヶ浦市の境界を変更するため、議案第14号から第17号



は、児童相談所の建築や千葉県総合スポーツセンター体育館の解体などに係る契約を締結するため、議案第18号は、損害賠償の額の決定および和解のため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。

◎千葉県県民栄誉賞等の授与

この夏、開催されたパリオリンピック、パラリンピックでは、千葉県ゆかりの19名の選手が目覚ましい活躍によりメダルを獲得し、全国に感動を与えました。

このことは、私たち県民にとって誇りであり、その栄誉をたたえ、選手の皆さんに対し、表彰を行うことと致します。

その他、補正予算の主な施策等の概要、県土整備部における不適正事案に係る再発防止に関する報告等がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

令和6年12月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

月日	議事・委員会予定	開議時間
11月15日(金)	開会	午前10時
21日(木)	質疑並びに一般質問	//
22日(金)	//	//
25日(月)	//	//
26日(火)	//	//
27日(水)	//	//
28日(木)	//	//
29日(金)	//	//
12月3日(火)	常任委員会(健康福祉・文教)	//
4日(水)	// (総合企画企業・商工労働)	//
5日(木)	// (環境生活警察・県土整備)	//
6日(金)	// (総務防災・農林水産)	//
11日(水)	閉会	午後1時

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。

傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV：テレビで生放送を予定しております。

パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。

請願・陳情のオンライン提出の開始について

千葉県議会では、議会に係る手続のオンライン化を進めており、請願・陳情についても、令和6年9月定例県議会から書面に加え、オンラインで提出できるようになりました。

オンラインにより行おうとする場合は、「ちば電子申請サービス」を利用してご提出ください。

詳細は、千葉県議会ホームページの「請願・陳情」のページにおいてご案内しております。

〈千葉県議会ホームページ「請願・陳情」〉
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/giji/aramashi/seigan.html>

※請願の提出には、本県議会議員の紹介が必要になります。

